

情報公開文書

研究課題名	持続血液透析を施行した患者の臨床的特徴と透析カテーテル関連合併症について
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関:)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u> 当 院 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u>
研究期間	(西暦) 2018年5月～2019年3月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>持続血液透析は、急性腎障害を合併した重症患者さんの治療、また維持透析患者さんが重症疾患を発症し集中治療を要する場合極めて重要な治療手段です。持続血液透析の施行のためには透析カテーテルの挿入が不可欠ですが、このカテーテルに関連した合併症であるカテーテルからの血流脱血不良についての検討は全くなされておられません。</p> <p>透析カテーテル脱血不良は持続透析中断を意味し、患者さんにとっては透析効率の低下、回路凝固の原因となり透析が不十分となり、医療従事者はその対応が必要となります。特に看護師や臨床工学技士の手間がかかり、夜間や休日でも対応が必要になります。</p> <p>これらの問題に対して本研究ではカテーテルからの血流脱血不良と関連する因子を患者さんの背景より検討し明らかにします。そして少しでも患者さんにとって十分な透析が施行でき、医療従事者の負担が減るような提案をすることを目的としております。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2014年1月1日から2017年6月30日の間に長野赤十字病院で持続血液透析を受けた20歳以上の患者さんを対象とし、患者背景因子のデータを収集し持続透析中の脱血不良発症と関連する因子を統計学的に検討します。</p>
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテより以下を抽出いたします。 <背景>背景、性別、年齢、身長、体重、合併症、既往、現病歴、内服薬 <血液データ>血算・生化学一般項目 <臨床所見>患者の自覚症状、他覚症状 <画像検査>X-P検査、CT検査 <治療経過と患者予後>患者予後、腎予後、感染症の発症頻度、そのほかカテーテル合併症(脱血不良、入れ替え)の発症頻度
研究対象者	2014年1月～2017年6月30日までの間に当院集中治療室で持続血液透析治療を受けた20歳以上の方 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で

	使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目2番1号 長野赤十字病院 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439